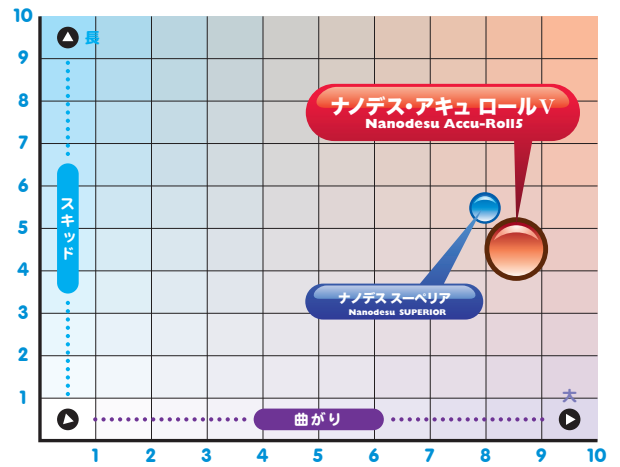
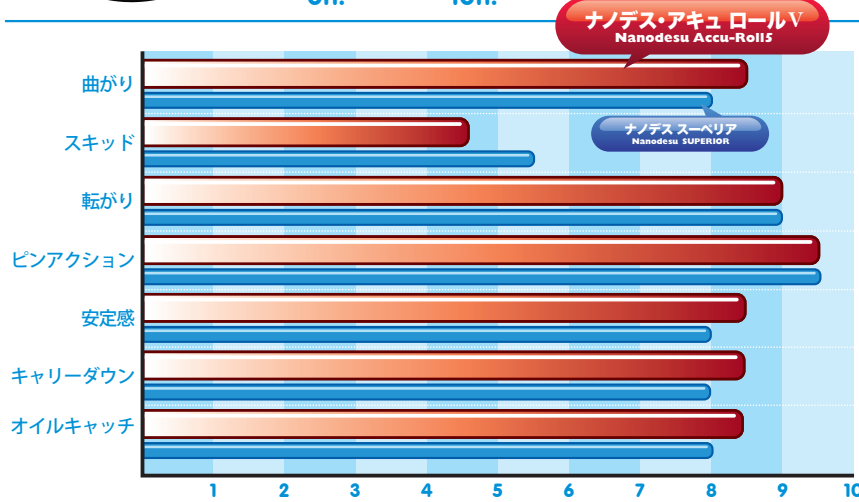
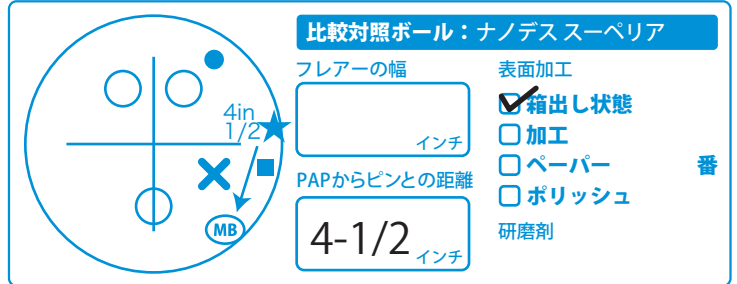
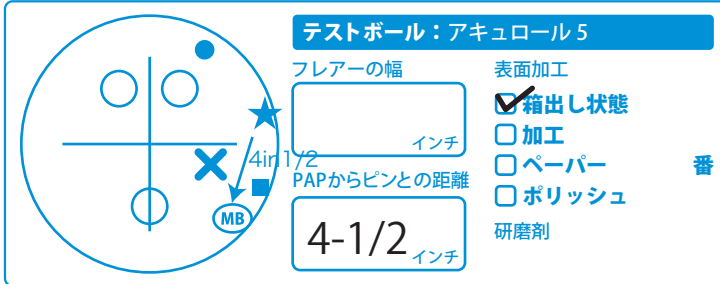


ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス アクュロールV	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.463	△RG 0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール



ボールの評価

Nanodesu Accu-Roll4、Nanodesu SUPERIORは高い評価を頂き、ほぼ即日完売に近い実績を得ることができました。配色もさることながら、Nano Technologyと衝撃吸収システム、いわゆる曲りとピンアクションに評価を得られたことは非常に嬉しく思います。今回ご紹介するAccu-Roll5はAccu-Roll4よりもキャッチ感を強め、奥の動きはほぼ同等を目指した、一段階上位の攻撃的なモデルと言っても良いでしょう。このAccu-Roll5は今回も新しいTechnologyを組み込んでいます。ウレタン樹脂を使わない特殊素材で構成されるNanodesuブランドですが、今回ウレタン樹脂でいう”Solid Cover”的な要素を取り入れることで手前の摩擦を増やす試みを施してあります。肝心なのはこの後で、Solid系に領域を傾かせたことでドライゾーンでの反応、所謂Backendの動きが減少したのでは元も子もありません。それを両立させているのがAccu-Roll5の最大の特徴だと言えます。

そのCoverstockをもってBackendの動きを出せるCore Technologyも新開発で、Symmetricでレイアウトしやすい設計です。私は開発段階でさまざまな表面加工を試してきましたが、CoverのキャッチとBackendの動きのバランスからいうと”やや曇り気味のポリッシュ”がMid Laneのキャッチから安定して動きが見るので、幅広いコンディションで対応が可能だと感じました。そのMidの動きだしがキツく感じるならば光沢を出すとBackendの動きのメリハリ感が増します。”クリーンに走って奥での反応をより求める”のであれば、Box Finishから光沢をだす作業を行って頂ければ良いと思います。

最近のNanodesuは製法が特殊なため、一日に生産できる個数が限られています。皆様にお待たせしないよう急ピッチで取り掛かっていますが、お買い求め希望の方は早めのオーダーをオススメします。

特記事項

Brack Solidの配色はシンプルながら強ささえ漂います。Nanodesu特有の柔らかいピンアクションと鋭い入射角は投球者のみならず、見る人すべてを魅了するでしょう。